

STO Rescue Jackシリーズ

## 取扱説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございました。



災害時 救助用 STOレスキュージャッキ

# STO Rescue Jack



わたしたちは日本赤十字社の活動を支援しています。

本商品は、災害時の人命救助を目的としています。

「より多くの人を助けたい。」

そのためにも、事前にこの取扱説明書と保証書の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。



### ■もくじ

- 1. 梱包内容と各部の名称・・・・・・・・・・・・ 2p
- 2. 取扱説明図・・・・・・・・・・・・・・ 3p
- 3. 安全にご使用いただくために大切なこと・・・・ 4p
- 4. 操作手順・・・・・・・・・・・・・・ 5p～10p
- 5. 注意事項・・・・・・・・・・・・・・ 11p～14p
- 6. 仕様等・・・・・・・・・・・・・・ 15p
- 7. 保証書・・・・・・・・・・・・・・ 16p



注意

この取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しく使用してください。

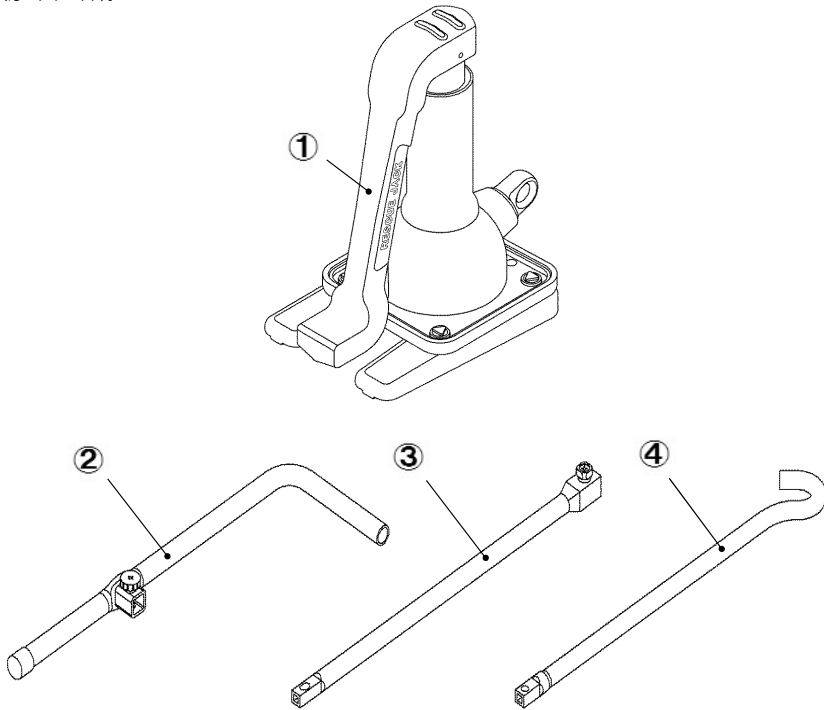
この取扱説明書はなくさないよう大切に保管して下さい。

※万が一紛失の際はHPよりダウンロードも可能です。

## 1. 梱包内容と各部の名称

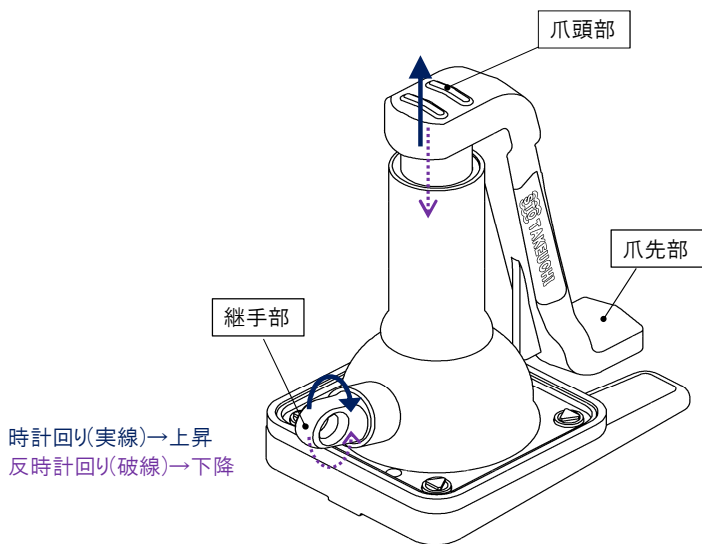
※まずはじめに内容物が正しく入っているか確認してください。

内容物 図と名称

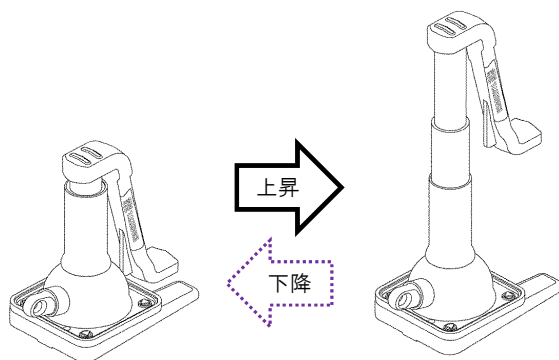


- ①レスキュージャッキ本体
  - ②ジャッキハンドル
  - ③ジャッキハンドル延長用バー
  - ④ジャッキハンドルバー
- 取扱説明書 (本紙)

## 2.取扱説明図






継手部を回すことにより、ジャッキが伸縮し、昇降します。  
継手部は手またはハンドルセット②③④を用いて回します。



### 3.安全にご使用いただくために大切なこと

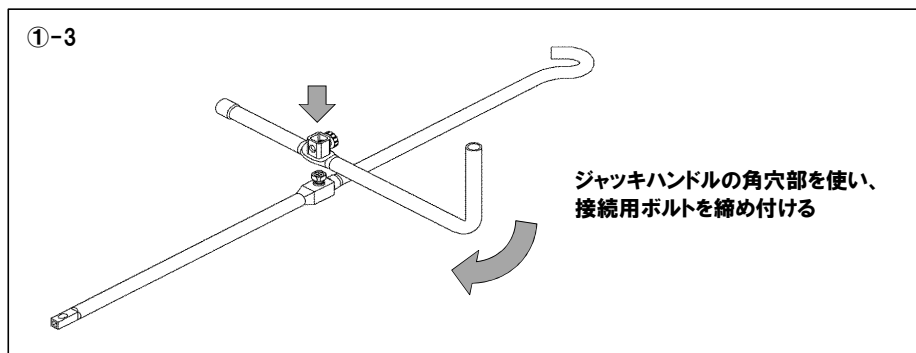
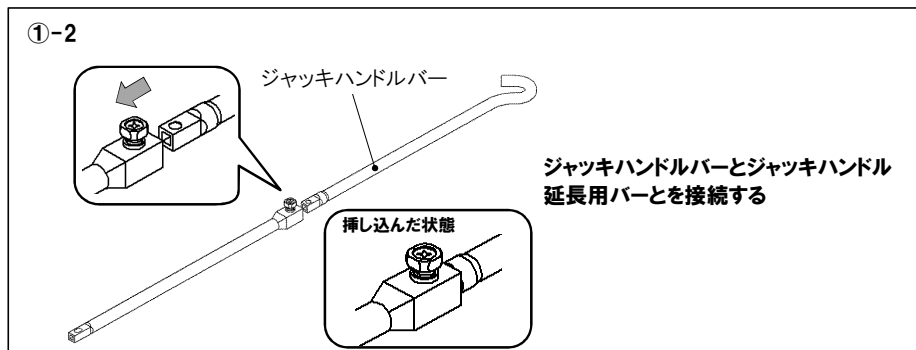
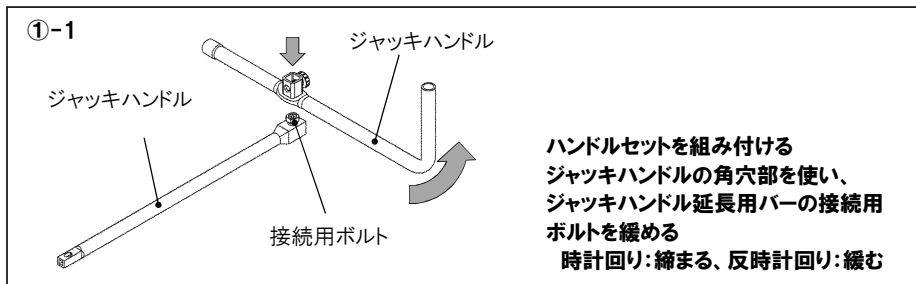
- 本製品を絶対に分解・改造しないでください。  
※重大な不具合・事故が発生する危険があり、補償対象外になります。
- この取扱説明書をよく読み、製品の使用方法を十分理解した上で操作を行ってください。
- ジャッキを使用する前に必ず以下の点検を実施してください。  
損傷がないか、さび等がないか、荷重をかけない状態で上昇・下降がスムーズにできるかを必ず確認してください。
- 迅速な人命救助のため、なるべく複数人で作業することを推奨します。

■説明書の中に出てくるマークの意味  
以下のマークの意味をよく理解してください。

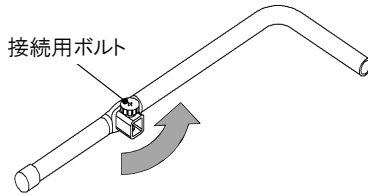
	危険	当該記載事項を厳守しないと死亡事故を招く恐れがあるもの
	警告	当該記載事項を厳守しないと製品及び身体に重大な損傷を招く恐れのあるもの
	注意	当該記載事項を厳守しないと製品及び身体に損傷を招く恐れのあるもの

## 4.操作手順

### ① ハンドルを以下の手順で組み立てる

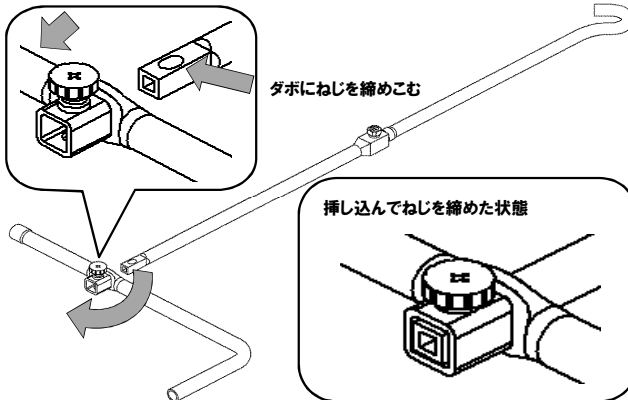


①-4



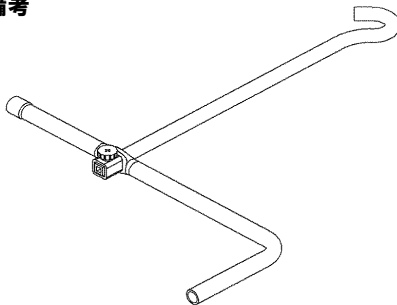
ジャッキハンドルの接続用ボルトを緩める

①-5



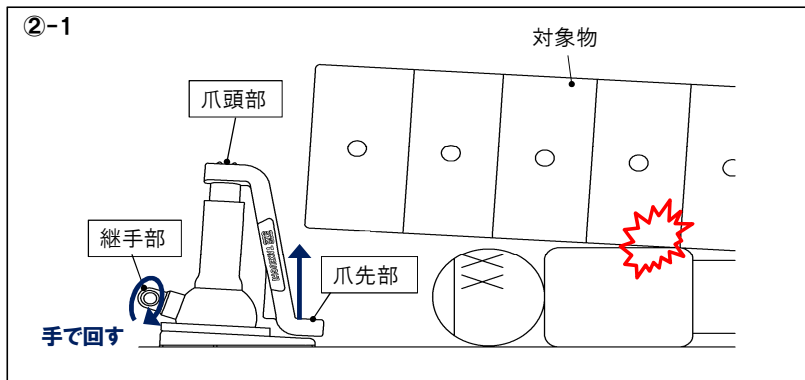
ジャッキハンドル延長用バーとジャッキハンドルとを接続し、  
接続用ボルトを締める

備考



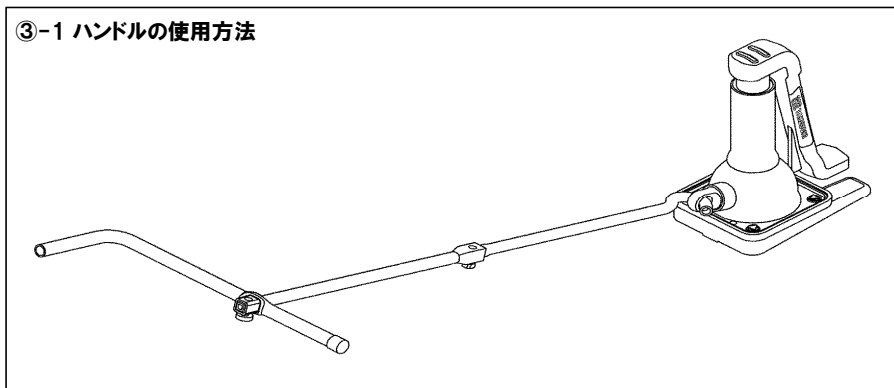
スペースがない場合、ジャッキハンドルバーと  
ジャッキハンドルを接続してご使用ください

- ② ジャッキ本体を対象物の隙間にセットする（※セット時ジャッキ本体は傾いています）  
 ※この時設置する場所が平らで安定した場所にセットすること  
 ※対象物の両側下にあて木・ウマ・ブロック等をセットし  
 対象物が崩れないように身の安全を確保してください  
 ※この時ジャッキ本体を手で回し、確実に爪先部(爪頭部)を対象物にセットしてください

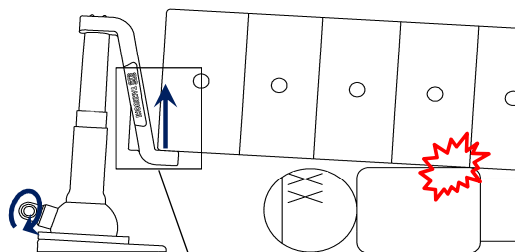


- ③ ①で組み立てたハンドルセットをジャッキ本体継手部に確実に引っ掛け、時計周りに回して対象物を持ち上げます（下降は反時計回り）  
 ※安定して持ち上げれない場合は、ジャッキをセットする場所を変更してください  
 ※昇降操作が完全に終了し、適切な荷受け・当て木等で隙間が確保されるまでは対象物の上や下に人員を立ち入らせないこと

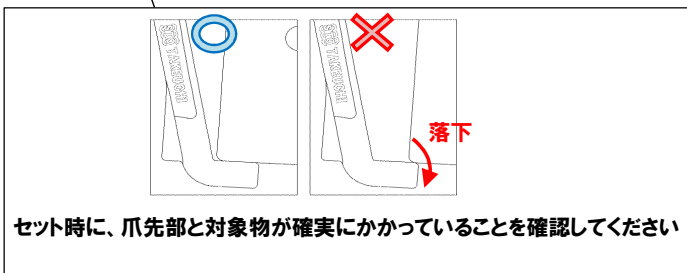
③-1 ハンドルの使用方法



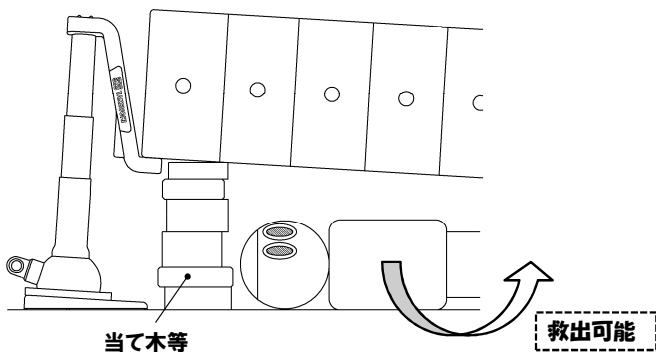
③-2



ハンドルセットで回す



③-3

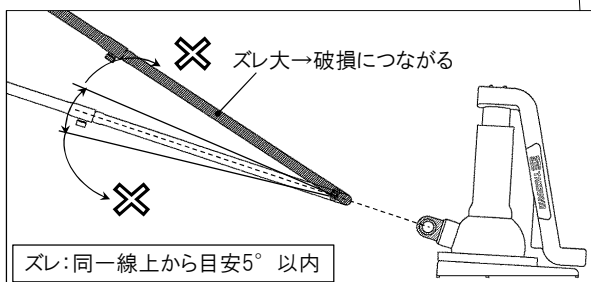
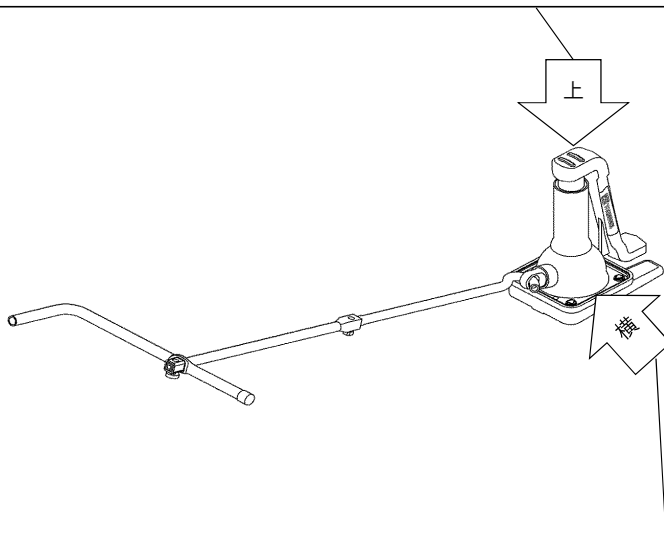
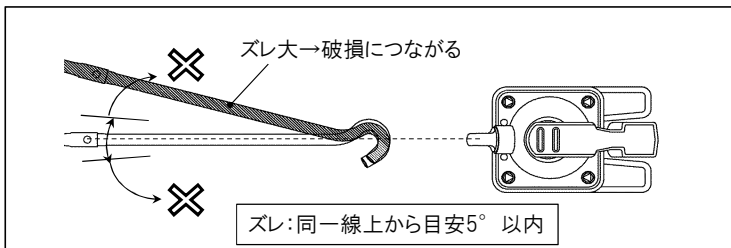


④ 使用後は元の状態に戻して保管してください



5.注意事項  
(ハンドル角度)

5-1 操作時、ハンドルセットと継手部の向き(角度)を揃えてください



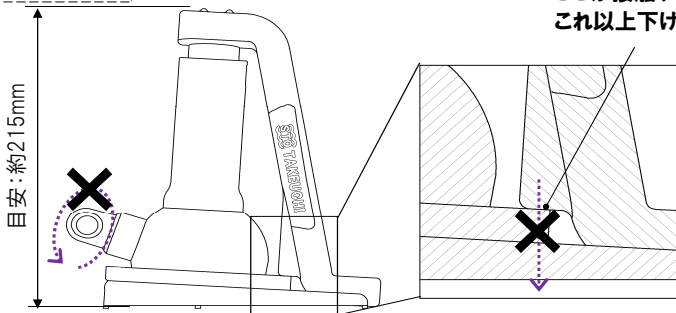
(ジャッキの可動範囲)

5-2 縮長(最低高さ)から無理に下げようとししないでください

縮長(最低高さ)

目安: 約215mm

ここが接触すると、  
これ以上下げられません



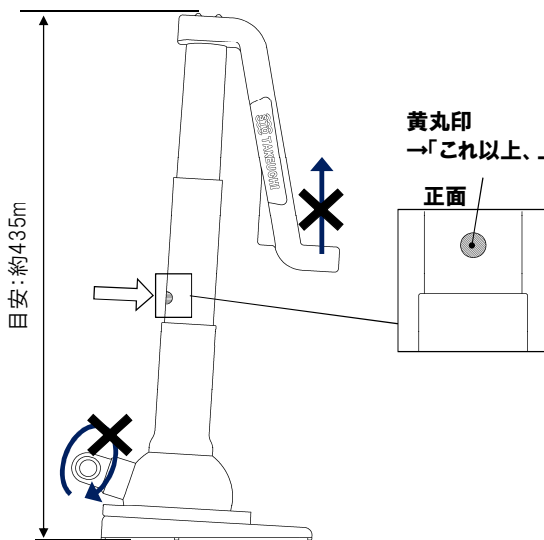
5-3 最伸長(最高高さ)から無理にジャッキを上げようとししないでください

最伸長(最高高さ)

目安: 約435m

黄丸印  
→「これ以上、上げられない」という目印です











正面













## ■安全にご使用いただくための操作手順と注意事項

### ●はじめに

以下を十分に読み理解した上で使用者の安全を確保して使用ください。

-  **警告** 災害に関しての緊急人命救助に限り使用してください。  
他の用途には絶対に使用しないでください。  
ジャッキという製品の性質上、使い方によって危険な状況が発生させる場合がありますので、使用時の慎重な操作と安全への高い配慮が求められます。  
また使用時、使用方法すべてに適合していることを保証するものではありません。  
そしてそこから生じる全ての責任を使用者が請けなければなりません。
-  **注意** ジャッキを使用する前に安全で的確な使用方法を理解するため、この取扱説明書をよく読んでください。
-  **注意** ジャッキを使用する前に必ず以下の点検を実施してください。  
損傷がないか・さび等がないか・荷重をかけない状態で上昇・下降がスムーズにできるか  
適切に機能するかの確認が取れてからご使用ください。  
損傷したジャッキが発見された場合は使用しないでください。
-  **注意** ジャッキの操作手順をよく理解した上でご使用ください。
-  **危険** 対象物を昇降する際は必ず、平らで安定した場所で使用してください。  
対象物の安定性を確保するため爪先部(荷受け部)にスレ・滑り・崩れが起こらないことを確認の上でご使用してください。
-  **危険** 荷重がかかった状態では同梱されているジャッキハンドルセット以外のもので絶対に操作を行わないでください。
-  **危険** 本体及びハンドルに仕様以上の高い負荷をかけると変形し怪我をする恐れがあるため、絶対に無理に力を加えないでください。  
変形したハンドルや本体は直ちに使用を中止してください。
-  **危険** 腰、腕、腿などが、少しの間がれきの下敷き状態であった人を救助する際はクラッシュシンドロームの恐れがあると言われています。  
その場合は必ず、救急隊や医師の指示を受けてから救助してください。
-  **危険** ジャッキ操作時、突然の予期せぬ揺れ等で引き起こされる人体への重大な損傷を防ぐために、使用者の頭や体の部分が対象物に挟まれないように十分でかつ安全なスペースを確保して操作を行ってください。
-  **危険** 対象物の形状や、上昇させた際の傾き、急激なスレなどにより耐荷重未満でもジャッキが故障する可能性があります。  
異常を感じたら絶対に無理に力を加えないでください。

- 11  危険 操作中、なんらかの理由でジャッキが転移した場合、対象物の落下やズレを防ぐために頑丈で破損しない当て木等を対象物の下に常にあてがいながら安全を確認した上で少しずつ操作してください。  
昇降時対象物がズレ落ちないように当て木等で工夫しながら操作してください。また上昇させた対象物をジャッキだけで決して保持し続けしないでください。上昇操作が終了しましたら直ちにジャッキ以外の頑丈な当て木等で対象物を受けてください。
- 12  危険 昇降操作が終了し、頑丈で適切な荷崩れ防止の当て木等でスペースが確保されるまでは人員を対象物の上下に立ち入らせないで下さい。
- 13  危険 図5-3の黄丸印で示すジャッキの高さを超えて使用しないでください。定められた高さ以上に伸ばすことは安定性を損ない、本体の破損及び対象物が転倒する恐れがあります。対象物が固定物に接触したりジャッキの最大高さに達した時はそれ以上にジャッキハンドルに力を加えないでください。
- 14  危険 仕様に記載されている重さ以上の対象物を持ち上げないでください。定められた以上の重さをかけた場合、本体の破損及び対象物を転倒させる恐れがあります。
- 15  危険 セットした爪先部(爪頭部)からジャッキ本体及び対象物が転移した場合は再度確実にジャッキ本体をセットし直してください。厳守しない場合、本体の破損及び対象物が転倒する恐れがあります。
- 16  危険 昇降時、ハンドルやジャッキ本体を揺すらないでください。本体及び対象物が転倒する恐れがあります。
- 17  危険 昇降操作終了時、ジャッキを操作しない際はジャッキ本体よりハンドルを外してください。万が一ジャッキ本体にハンドルをセットした状態で放置すると、ハンドルにつまづくなど本体に大きな力が加わり、本体及び対象物が転倒する恐れがあります。
- 18  危険 ジャッキを下げる場合はすべての人員及び体が対象物の下に入らないように安全確保した状態で操作してください。
- 19  注意 ジャッキ及びハンドルセットを人命救助以外の用途には絶対使用しないでください。ハンドルセットをボールとして使用しないでください。その他製品に使用しないでください。
- 20  注意 悪天候での使用(雷雨・暴風雨)及び雪上・真夏のアスファルト上での使用はしないでください。







- 21  **危険** 以下の状況下での使用はしないでください。  
また以下の対象物を持ち上げないでください。

- ・土石流などの撤去
- ・電柱などの丸い対象物
- ・水中での使用
- ・濡れた対象物
- ・油のついた対象物
- ・感電の恐れのある場所(切れた電線の近くなど)
- ・ガラスの飛散した場所(飛散したガラスを撤去してから救助してください)
- ・完全倒壊した家屋からの救助(二次災害の恐れありプロを要請してください)
- ・複数の壁や物が折り重なった場合(二次災害の恐れあり)
- ・対象物が壊れやすいもの(ガラス製など)
- ・生物・動くもの(人や動物を直接持ち上げない)
- ・ジャッキを横向き・逆さまで使用する行為
- ・車のタイヤ交換
- ・ガス管などの配管
- ・その他危険が想定される対象物

#### ■レスキューブロック (オプション) 取り扱い注意事項

- ・本製品はレスキュージャッキ使用時のあて木としてご使用いただけるオプションの製品です。
- ・ご使用方法といたしましては対象物をジャッキで持ち上げる際にレスキューブロックにて常にあてがいながら隙間を埋め、万が一の対象物の落下や荷崩れ防止をするものです。
- ・ご使用の際は常に安全に注意し、少しずつジャッキの操作をし安全確保に努めてください。

#### ■レスキューブロック (オプション) 安全にご使用いただくための注意事項

-  **注意** 製品の性質上、災害発生状況により使い方によって危険な状況が発生させる場合がありますので、使用時の慎重な操作と安全への高い配慮が求められます。また使用時、使用方法すべてに適応していることを保証するものではありません。そしてそこから生じる全ての責任を使用者が請けなければなりません。
-  **危険** 操作中、なんらかの理由でジャッキが転移した場合、対象物の落下やズレを防ぐためにレスキューブロックを対象物の下に常にあてがいながら安全を確認した上で少しずつジャッキの操作してください。昇降時対象物がズレ落ちないようにレスキューブロックで工夫しながら操作してください。上昇させた対象物をジャッキだけで保持し続けることは大変危険です！常にレスキューブロックで対象物を支えることを心がけてください。
-  **危険** いかなる時も、対象物の下には手や身体を入れないようにしてください。万が一の荷崩れの際怪我をするおそれがあり大変危険です。
-  **注意** 不安定な地面の場合、本製品をジャッキの下に敷きジャッキを安定させ昇降させることが可能ですが、ズレ落ちることや転移することもございますので、十分に安全に配慮しお使いください。
-  **危険** セット時、盤木の上下に手を入れないようにセットしてください。万が一の際手を挟まれる恐れがあります。
-  **注意** 壊れやすい家具等を持ち上げる際は外れにくい当て木等をして持ち上げることをお勧めします。そのまま持ち上げると破損する恐れがあります。

## ■保管及びお手入れ方法

ジャッキ・ハンドルセットは砂・水がかからないように保管し、良好な状態を保つようにしてください。

地震等で落下するような保管場所は避け、屋内で保管してください。

ただし高温場所での保管は避けてください。

使用後は、汚れ等を拭き取り保管してください。

## ■製品寿命

未使用10年（室内保管で新品未使用の状態）

※上記は目安です、環境条件により異なります。

本製品は交換可能な部品はありません。

（ハンドルが変形したものは本体も破損が考えられるため使用しないでください）

## ■その他

本製品の室内使用時は使用方法により、床及び対象物(家具)等に傷等がつく恐れがありますので必要に応じ敷き板等を当て保護してください。その際ジャッキがずれない・転倒しないように十分注意し作業をしてください。

モールドバッグ(紙製バッグ)は材質・製法上の特性により一部むしれ・亀裂・変色等がございますがデザイン上のものでご了承ください。

上記バッグを利用しての運搬は中身が落下しないよう十分にご注意願います。

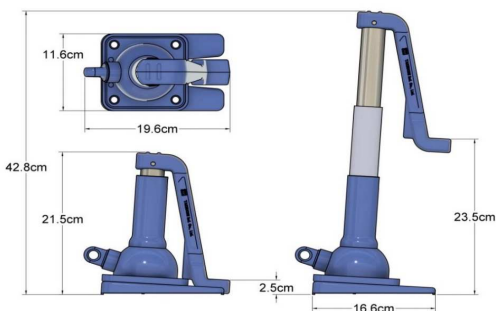
本製品の特性上、ジャッキ操作により塗装が剥がれたりキズが付く恐れがありますが、ご了承ください。

## 6.仕様等

### ■ジャッキ能力・高さ仕様

木造半倒壊での人命救助を想定して設計しております。  
 また使用時、使用方法すべてに適用していることを保証するものではありません。  
 そしてそこから生じる全ての責任を使用者が請けなければなりません。

『 STO Rescue Jack (STOレスキュージャッキ) 』	
型番	S0800
生産国	日本
外寸	ジャッキ;縦11.6×横19.6(底面16.6)×高21.5cm ジャッキハンドル;31.7×11.2×2.7cm ジャッキハンドル延長用バー;33.5×2.44×1.54cm ジャッキハンドルバー;33.5×4.8×1.3cm
重量(すべて含む)	約5.0kg(本体4.3kg、ハンドルセット0.7kg)
主な機能、性能	最小高さ:爪頭部 21.5cm/爪先部 2.5cm 最大高さ:爪頭部 42.8cm/爪先部 23.5cm 最大荷重:爪頭部 2,000kg/爪先部 500kg
セット内容	レスキュージャッキ本体 ジャッキハンドル3本 モールドバック 取扱説明書



### ■重さの目安(参考一例)

冷蔵庫	50	～	280	kg
たんす	50	～	150	kg
ブロック塀	1m <sup>2</sup> あたり		100	kg
洗濯機	50	～	500	kg
業務用ガスレンジ	300	～	300	kg
ピアノ	240	～	400	kg
食器棚	50	～	150	kg
エコキュート	50	～	150	kg
仏壇	50	～	200	kg

※あくまでも上記は目安の重さです。大きさ条件等により変わります。

## 7.保証書

商品名	STO Rescue Jack		
型式	S0800		
保証期間	ご購入日より一年間（新品未使用時は10年）		
ご購入日	年	月	日
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
お電話番号			
販売店	販売店名・住所・電話番号・販売日		

無効

### ■保証規定

この度は当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。  
この保証書は本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。  
その際は、本保証書にご購入日、販売店の記載のある場合は本保証書を、  
記載のない場合は、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書を  
提示していただきます。また本保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。  
万が一、ご購入後1年以内の製品で、当社規定の条件でのご使用において  
動作が行えない場合はご一報ください。  
本製品は10年間、新品未使用時の保証がついております。  
新品未使用の状態正しい保管方法の上、動作しない場合交換致します。  
※なお、ご購入後取扱説明書にて、使用方法をご確認頂くことを推奨致します。

以下のような場合は保証期間中でも有料修理となります。

- ①ご使用上の誤り、不当な修理・改造による故障および損傷
  - ②お買い上げ後の落下・輸送上の故障および損傷
  - ③本保証書もしくはお買い上げ日が記載されたレシートや納品書のご提示がない場合  
あるいは字句を書き換えられた場合
  - ④ご使用後のキズ・変色・汚れ・及び保管上の不備による損傷
  - ⑤災害時及び災害訓練以外での用途での使用
- ※なお、お客様の個人情報は、修理対応時のみ使用させていただきます。

### 製造元

竹内工業株式会社

〒454-0049

愛知県名古屋市中川区清川町1-1

TEL:052-361-1111

E-mail: i-jack@sto-takeuchi.co.jp

URL: <http://www.sto-takeuchi.co.jp>